

広報

えどがわ

E D O G A W A



2026年

8/15号

no.2109

記憶をつなぐ

～平和への祈りを次の世代へ～

旧中川東京大空襲犠牲者慰霊灯籠流し

「令和8年熊本地震義援金」を
受け付けています

《8ページへ

記憶をつなぐ

平和への祈りを次の世代へ

太平洋戦争末期の昭和19年（1944年）6月、アメリカ軍の戦略爆撃機B29が北九州の工業地帯を初めて爆撃しました。同年8月にマリアナ諸島を攻略したアメリカ軍は、B29の基地を建設して日本全土を爆撃範囲としました。B29による東京への空襲は同年11月に始まり、区内でも初めて空襲による死者が出ました。

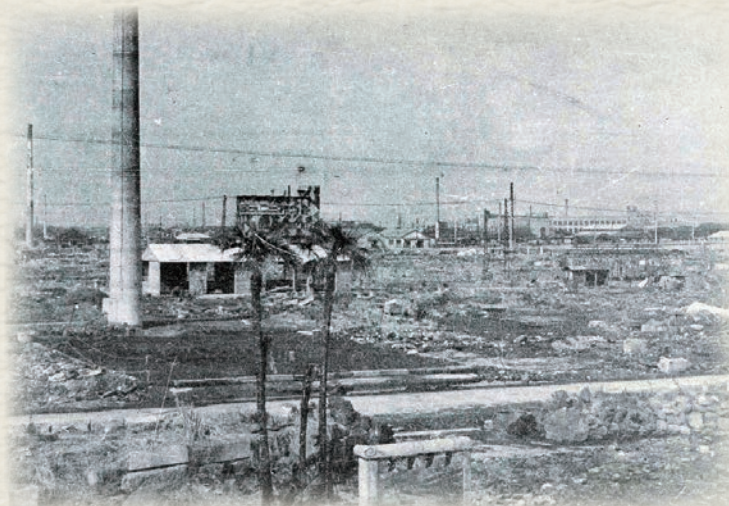
昭和20年（1945年）3月10日、東京の下町を焦土と化する大規模な空襲が行われ、一夜で10万人ともいわれる命が失われました。

区内でも、小松川・平井地区がほぼ焼失し、800人を超える方々が亡くなりました。空襲はその後も続き、東京では8月15日までにさらに数万人が犠牲になりました。

終戦からすでに80年がたち、戦時中の記憶を持つ方も年々減っています。そこで区では、戦争の悲惨さや平和の大切さを次の世代へ伝えるため、戦時中の様子が分かる資料・証言などを募集してきました。この特集では、その資料や証言を紹介します。



写真：AP/アフロ
戦略爆撃機B29が日本の市街地に爆弾を投下する様子



小松川2丁目辺りから見た小松川警察署方面



昭和20年3月10日の空襲により焼けた、現在の小松川3・4丁目付近。中央の建物は東京都交通局小松川変電所。

戦時中の記憶

終戦から80年たっても忘れることのできない戦時中の記憶。
戦争を経験した方々に当時の話を伺いました。



本田 美津子さん 102歳
大正13年生まれ（当時江東区大島在住）

真つ暗な防空壕の中で

昭和20年の頃、私は21歳で、当時は東京の大島、下町の方に住んでいました。

うちには敷地に防空壕があったんです。祖父や父が造ったのでしよう。これがないと生き残れないから。空襲警報が鳴るたびに、バツて防空壕の中に逃げ込んでいましたね。夜間よりも昼間の空襲が多かったような記憶があります。空襲警報が鳴ると、「早く入れ！」と父が叫ぶんです。怖くて必死に防空壕の中に逃げ込んでいたことは、今でもはっきりと覚えています。防空壕の

空襲警報が鳴るたびに「早く入れ！」と父が叫んで

中は電気がないので、昼間でも真つ暗です。あの暗闇の中でじっと身を潜めていたことは忘れられません。

兄弟の疎開と兵士に送った慰問袋

兄弟が8人いたんですが、私は長女だったのでずっと家に残っていました。でも戦争が激しくなってくると、下の兄弟は知り合いのところに疎開しました。兄弟がいなくなった寂しさを感じる余裕もないほど、毎日生きるのに必死でしたね。

いつの頃だったか、出征する兵士のために慰問袋（P7に説明）を作って送ったことがありました。受け取った兵士の方がうちに訪ねてきてくれたこともありましたね。その後、その方々の無事を日々祈っていました。

東京大空襲で家は丸焼け

東京大空襲の時、私は家にいたんです。大島の方は火がひどくて、家は丸々焼けてしまいました。本当に「丸焼き」ですよ。家中何もかも全部焼けて……。私の家は小名木川沿いにあったので

100歳を過ぎても忘れられない

今は江戸川区に住んでいて、デイサービスに行ったりテレビを見たりして穏やかに過ごしています。でも、ニュースで戦争のことを見ると、思い出します。戦争は本当に嫌ですね。子どもの頃の記憶は戦争一色で、あの空襲の怖さや食べ物がなく苦労したこと、そういった嫌な記憶は100歳を過ぎてもちゃんと残っているものですね。



集団疎開で山形へ

私は小学3年生の時、山形県の鶴岡の方へ疎開しました。疎開には、親戚を頼る「縁故疎開」と、国によって場所が割り当てられる「集団疎開」の2通りがあります。私の場合は田舎に親戚もいませんでしたが、親が「みんなと同じように苦労してきなさい」という方針だったこともあり、兄と一緒に集団疎開へ行きました。

鶴岡での生活

私は湯田川温泉の旅館にいたのですが、旅館一つに全員がいたわけではなく、近隣のいくつかの旅館に分かれて生活していました。

疎開してしばらくは、食事もう食いたくことができ、山形はお米もおいしかったのでありがたかったですね。ただ、終戦直後は一変して、食べるものはかなり悪くなりました。お米の代用食として豆や芋を食べ、それだけでは足りないの、山に行つて山菜採りもしました。ワラビやゼンマイを採ってくるのですが、きれいに水で洗ってアクを取るなんてことはできませんから、真つ黒なまま食べていました。

約一年半の長い疎開生活の中で

小学3年生から4年生の半ばまで、約一年半という長い期間だったので、中には辛くて逃げ出そうとした子や、親が東京に連れて帰った子もいました。



疎開先である山形県鶴岡市の旅館付近にて（野木さんは写真前列の左から4番目）

「戦争に負けた日」の記憶

終戦の日ことは、今でもはっきりと覚えています。旅館から歩いて5分

どこの学校の子かは分かりませんが、東京に戻った子が空襲で亡くなったというのを後から聞きました。疎開せず東京に残っていたらどうなっていたことか。疎開していたからこそ助かったのだと実感しましたね。

今、子どもたちに伝えたい「幸せ」の意味

児童疎開での経験は、私にとっての「宝物」です。物を大切にすること、人に優しくすること、共同生活を送ったこと……。そうした経験のおかげで、今の自分が形成されたのだと感じています。今の世の中は食べ物に不自由なく、贅沢になりすぎているようにも見えます。戦時中、親元を離れて苦労したからこそ、今の平和な暮らしがどれほどありがたいものか、身に染みて分かります。今の子どもたちには、今の幸せを当たり前と思わず、大切に生きていってほしいですね。

疎開先から戻ると東京のまちは何もなくなっていた

区HPでは詳しい内容を公開しています



さまざまな資料から見る戦時中の様子



予科練 軍服上着
10代後半の少年が、旧日本海軍航空機の搭乗員になる訓練を積んでいた予科練で着用していた。



千人針
出征する兵士の無事を祈り、一人一针ずつ縫ったもので、兵士はお守りとして身に着けた。



防毒面
毒ガスによる空襲を想定して、家庭に配備された防毒マスク。



奉公袋
兵士が陸軍に入る際に貴重品を収めて携行した袋。袋の裏側には収容品が書かれている。



慰問袋
家族や国民が戦地の兵士を励まし慰めるため、日用品や慰問文を詰めて送った袋。



鉄兜 (鉄帽)
空襲時に頭部を守るために用いられた鋼鉄製の防護帽で、一般家庭にも配備されていた。



『時局防空必携』
空襲への備えや空襲警報発令時の対応などが記されており、昭和16年に発行された。



衣料切符
戦時中から戦後にかけての物資不足により衣料は配給制となり、購入時には代金と切符が必要だった。

「平和への願いをつなぐ展示」を開催中

戦時中の様子を伝える資料や区民の皆さんにお寄せいただいた戦争体験記を展示しています。

☎相談係 03-6638-8089

●巡回展示

日程 (8月)	時間	場所
17日(月)まで	9時～21時30分	東部図書館
19日(水)～23日(日)	9時～21時	共育プラザ葛西
25日(火)～31日(日)	9時～21時30分	篠崎文化プラザ

●常設展示

【時間】 9時～21時30分
【場所】 江戸川区平和祈念展示室 (小松川さくらホール)



●区HPでも公開しています



戦時中の様子が分かる資料や証言などを募集しています。詳しくは区HPをご覧ください。



区内の戦争遺跡や追悼碑・慰霊碑など

旧江戸川区役所文書庫

【場所】 小松川さくら公園内 (小松川3-6-2)



大正13年に建てられたこの文書庫は、コンクリート造りのため東京大空襲でも焼け残り、現在も当時の姿を留めています。今年の3月に江戸川区指定有形文化財に指定されました。立ち入りはできませんが、文書庫の中を区HPで見ることができます。



世代を結ぶ平和の像

【場所】 小松川さくら公園内 (小松川3-6-2)



©江戸川文化写真連盟/えどがわ百景

東京大空襲の犠牲者を追悼し、平和の尊さを世代を超えて語り継ぐため、昭和63年に結成された「世代を結ぶ平和の像をつくる会※」により建てられました。
※現在は「世代を結ぶ平和の像の会」。

原爆犠牲者追悼碑

【場所】 滝野公園内 (中葛西3-22-1)



広島・長崎に投下された原爆による犠牲者を追悼するため、「親江会 (江戸川区原爆被害者の会)」が中心となり昭和56年に建てられました。手を合わせると広島・長崎を向くように設置された追悼碑には、「平和の図」が刻まれています。

東京大空襲慰霊碑「鎮魂」

【場所】 ふれあい橋東詰 (平井3-1)



日頃から犠牲者への追悼の気持ちを持ち続けたいとの思いから、小松川・平井地区の方々により平成13年の第3回灯籠流しに合わせて建てられました。「犠牲者は船があれば助かったのでは」との思いから船の形をしています。

旧中川東京大空襲犠牲者慰霊灯籠流し



平成11年から毎年終戦の日に行われ、参加者は、白い舟灯籠に文字や絵を描き川面に浮かべ、鎮魂の祈りを捧げます。
【日時】 8月15日(日)18時30分から
※荒天中止。
【場所】 ふれあい橋護岸 (平井3-1)

「えどがわ区民ニュース」(令和6年9月1日公開)では、戦争の悲惨さや当時の体験談、平和への祈りを捧げる方々の思いなどを、旧中川で毎年行われている灯籠流しの様子とともに紹介しています。



小学生・中学生・
高校生の皆さんへ



つらい気持ちを一人で抱えていませんか？

いのちの支援係 ☎03-5661-2478

新学期が近づいてきましたね。最近「眠れない」「やる気が出ない」「イライラする」といったことはありませんか。そのような状態が続くときは、心がSOSを出しているのかもしれない。一人で悩まず、信頼できる大人や以下の窓口まで相談してください。



保護者の皆さんへ

お子さんの様子に「いつもと違う」と感じることはありませんか。悩みを抱えているサインかもしれません。気になることがあったら「どうしたの？」と声をかけてあげてください。心配なことがあれば、以下の窓口までご相談ください。

「助けて」を相談できる場所がたくさんあります

●電話相談

相談先	時 間	電話番号
24時間子供SOSダイヤル（国）※1	24時間（無休）	0120-0-78310
よりそいホットライン（（社）社会的包摂サポートセンター）		0120-279-338
児童相談所・こども家庭センター（はあとポート）	8時30分～17時（ 日 を除外）	03-5678-1810
	上記以外	0120-189-783
こどもの人権110番（国）	8時30分～17時15分（ 日 日 を除外）※2	0120-007-110
こころといのちのほっとライン（都）	12時～翌朝5時30分（無休）	0570-087478
えどがわ子どもの権利ほっとライン	火 水 13時～18時、 木 10時～15時（ 日 を除外）	0120-301-123
江戸川区教育相談センター 教育電話相談	グリーンパレス教育相談室	03-3655-8200
	西葛西教育相談室	03-5676-3288
	南篠崎教育相談室	03-3698-7811

●LINE相談

相談先	時 間	二次元コード
相談ほっとLINE@東京（都）	毎日15時～23時（受け付けは22時30分まで）	
法務局LINEじんけん相談（国）	8時30分～17時15分（ 日 日 を除外）※2	

※1 都の教育委員会の相談機関につながります。

※2 8月28日**日**～9月3日**日**は相談時間を19時まで延長し、**日****日**も開設します（**日**は10時～17時）。



江戸川区長
斉藤 猛



「江戸川区は、過去幾多の困難を乗り越え、平和で安住できるまちになった。水と緑に囲まれた、この素晴らしい郷土を次の世代に守り伝えよう」

これは、平成7年12月に掲げられた江戸川区平和都市宣言の一文です。

今号の特集のタイトルは「記憶をつなぐ」。

昨年には戦後80年という節目の年を迎え、終戦から長い年月が経過する中、戦争の記憶が「遠い過去のもの」として風化していくことが危惧されています。

戦争は、「家がある」「家族が一緒にいる」「食べ

物がある」、そして日々「安心して暮らせる」といった当たり前の日常生活を、一瞬にして奪い去ってしまいます。

私も含めて戦争を体験していない世代が増える中、戦争という過ちを二度と起こさないために、今を生きる私たちが戦争の悲惨さ、そして平和の尊さを胸に刻み、将来世代にしっかりと伝えていかなければなりません。

8月15日の「終戦の日」。毎年この日は、今号の表紙にもなっている旧中川の灯籠流しに参加しています。今年も、犠牲になった方々のご冥福を祈るとともに恒久平和への願いを込めて、静かに流れる水面にそっと灯籠を流したいと思います。

令和 8 年熊本地震への支援

～ 1 日も早い復旧・復興をお祈りいたします ～

義援金の受け付け

区では、区役所本庁舎や各事務所、各コミュニティ会館などで義援金を受け付けています。

また、日本赤十字社では以下の口座への振り込みによる受け付けも行っています。

皆さんからの温かいお気持ちをお待ちしています。

●振り込みでの受け付け

【受付期限】10月30日**日**

【指定口座】

ゆうちょ銀行・郵便局

口座記号番号⇒00190-3-605956

口座加入者名⇒日赤令和8年熊本地震災害義援金

銀行振り込み

三井住友銀行⇒すずらん支店／普通／2787553

三菱UFJ銀行⇒やまびこ支店／普通／2105551

みずほ銀行⇒くヌギ支店／普通／0620820

※詳しくは区HPをご覧ください。



人的・物資支援

これまでに区では、東日本大震災などの被災地支援に延べ約700人の職員を派遣した他、令和6年能登半島地震では、被災自治体からの要請を受けて、食料品や衛生用品、ブルーシートなどの支援物資を提供しました。

このたびの熊本地震においても、被災自治体からの要望に応じて必要な支援が早急に実施できるよう、支援体制を整えています。



◀東日本大震災の被災地において避難所の運営に当たる区職員



令和6年能登半島地震の被災地にに向けた支援物資の提供





①フードドライブ
ご家庭や企業で余っている食品をお持ちください。
【日時】8月16日(日)10時～15時

📞03-3676-9071

篠崎文化プラザの催し

イベント

催しもの

- 小松川区民館
【日時】8月19日(水)17時～21時30分
【日程】8月24日(日)
【定員】90人(申込順)
【出演】三崎家桜の輔 ほか
【講師】宇田川寿恵(フラワーデザイナー)
- 清新町コミュニティ会館
【日時】8月24日(日)
【定員】90人(申込順)
【出演】三崎家桜の輔 ほか
【講師】宇田川寿恵(フラワーデザイナー)
- 長島桑川コミュニティ会館
【日時】8月24日(日)
【定員】90人(申込順)
【出演】三崎家桜の輔 ほか
【講師】宇田川寿恵(フラワーデザイナー)

設備点検などによる休館のお知らせ

イベントカレンダー

区内のイベント情報・サークル活動などを区HPでお知らせしています



- ①まちづくり計画係
【日時】8月28日(金)19時～20時30分
【場所】小松川小学校
- ②都市計画係
【日時】8月28日(金)19時～20時30分
【場所】小松川小学校

意見募集など

意見募集など

お知らせ

申し込み記入例
(ハガキ・FAX・電子メール)
①催し名・コース(希望日・時間)
②郵便番号・住所
③氏名(フリガナ)
④年齢(学年)
⑤連絡先(電話・FAX番号など)
※往復ハガキの場合は、返信用の宛先にも②③を記入。
⑥勤務先・学校名を記入(原則1人1枚)
(重複申し込みは不可)
※詳しくは区HPをご覧ください。
【縦覧・意見書提出先】都市計画課都市計画係(区役所第三庁舎1階7番)
※縦覧・持参での提出は(土)を除く。
※詳しくは区HPをご覧ください。

【場所】篠崎文化プラザ
【申し込み】①②不要、8月3日17日(月)・④24日(日)14時から申し込みフォームまたは電話(右記)で



【日時】9月13日(日)10時～12時14時～16時
【定員】各26人(申込順)
【費用】各3500円
【講師】宇田川寿恵(フラワーデザイナー)

②しのプラコンサート
迫力ある歌声と生演奏をお楽しみください。
【日時】8月21日(金)13時～14時
【出演】芝沼美湖(ソプラノ)、工藤佳音(ピアノ)
③しのプラ亭落語会
社会人落語会で楽しいひとときをお過ごしください。
【日時】9月6日(日)13時30分～15時30分
【定員】90人(申込順)
【出演】三崎家桜の輔 ほか
【講師】宇田川寿恵(フラワーデザイナー)

ふれあい茶席

ふれあい茶席

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会



【日時】8月26日(日)11時から10時55分ごろに事前放送を実施します。
【場所】小松川小学校

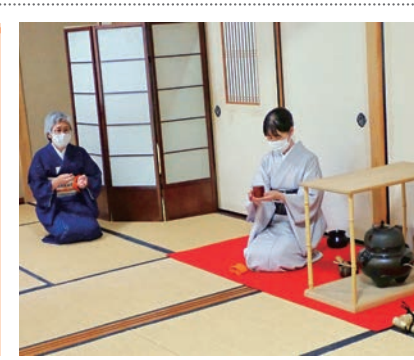
その他のお知らせ

その他のお知らせ

【縦覧期間】8月28日(金)～9月11日(金)
【意見書提出期間】8月28日(金)～9月18日(金)
【縦覧・意見書提出先】都市計画課都市計画係(区役所第三庁舎1階7番)
※縦覧・持参での提出は(土)を除く。
※詳しくは区HPをご覧ください。

【申し込み】①②不要、8月3日17日(月)・④24日(日)14時から申し込みフォームまたは電話(右記)で

ひらいた園蔵亭の催し



【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

ふれあい茶席

ふれあい茶席

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

給食費相当額を補助します

給食費相当額を補助します

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

給食費相当額を補助します

給食費相当額を補助します

【日時】9月4日・18日の(金)14時～15時30分
【対象】小学生以上
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【申し込み】①②不要、8月3日17日(月)・④24日(日)14時から申し込みフォームまたは電話(右記)で

えどがわエコセンターの催し

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわエコセンターの催し

えどがわエコセンターの催し

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわ共創プラットフォームを開催します

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわ共創プラットフォームを開催します

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【申し込み】①②不要、8月3日17日(月)・④24日(日)14時から申し込みフォームまたは電話(右記)で

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわ共創プラットフォームを開催します

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわ共創プラットフォームを開催します

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

えどがわ共創プラットフォームを開催します

えどがわ共創プラットフォームを開催します

【日時】9月2日・9日・16日の(日)14時～15時30分、25日(金)19時～20時30分
【定員】各14人(申込順)
※1組4人まで。
【費用】各500円
【講師】淡木会

穂高荘・塩沢江戸川荘は江戸川区の友好都市にある区立の宿泊施設です。
区民・区内在勤者とその同居家族向け料金があります。11月分までの宿泊・
バスツアーは各予約センター（下記）で受け付け中（申込順）です。



◀えどがわ区民
ニュースでも
紹介しています

長野県安曇野市 穂高荘

予約センター

☎03-5662-7051 = 9時～17時（日祝祭を除く）

信州の9月は紅葉が始まり自然の美しさが一層際立ちます。穂高号では、美しい風景が楽しめる絶景スポットを訪れるコースもご用意しています。



サンクゼールの丘

「健脚コース」ガイド案内で廃線跡ウォークと重要文化財「フランス式階段工」

10月18日回～20日回 2泊

プレミアム号 蓼科高原バラクラのアフタヌーンティーとサンクゼールの丘コース料理

11月1日回～2日回 1泊

されいにし隊（1号車 葛西・一之江・総合文化センター発／2号車 西葛西・船堀・平井発）

12月1日回～3日回 2泊

12月6日回～11日回は施設メンテナンスのため休館します。



▲穂高荘

新潟県南魚沼市 塩沢江戸川荘

予約センター

☎0120-007-095 = 9時～17時

もうすぐ豊かに実った稲が黄金色に輝く、美しい田園風景が広がります。今年もおいしい南魚沼産コシヒカリの新米をお届けします。新米の予約など詳しくは塩沢江戸川荘（☎025-783-4701）へお問い合わせください。



悠久の阿賀野川ライン遊覧船とヤスダヨーグルト Y&Y GARDENでショッピング

11月4日回～6日回 2泊

長楽寺から望む焼捨の棚田・北国西街道 稲荷山宿散策と野沢温泉宿泊

11月15日回～17日回 2泊

11月30日回～12月10日回は施設メンテナンスのため休館します。



秋の塩沢号
おすすめコース



▲塩沢江戸川荘

12月分／年末年始期間分の宿泊予約受け付け開始！

【申し込み】予約センター（上記）へ電話で（お掛け間違いにご注意ください）

12月分（年末年始を除く）⇒両施設共通で9月1日回9時から／年末年始期間分（12月26日回～9

年1月3日回）⇒穂高荘＝9月1日回～8日回、塩沢江戸川荘＝9月3日回～9日回

※初日のみ予約が重なった場合は抽選、それ以降は申し込み順。年末年始期間分は抽選。

※各コースの内容や最新情報は、区施設や各駅に設置するチラシまたは各HPをご覧ください。

葛西臨海公園内のホテル

ホテルシーサイド江戸川



～トロピカルフルーツフェア～

レストラン「シーサイド」では、8月31日回までトロピカルフルーツフェアを開催しています。世界自然遺産の島・徳之島が育んだ南国の恵みをお楽しみください。



イメージ

【メニュー】

○トロピカルマンゴーとドラゴンフルーツの贅沢かき氷 2400円

○たんかんと濃密抹茶のかき氷 2400円

○南国フルーツクリームあんみつ たんかん蜜仕立て 1500円

○トロピカルフルーツのクリームソーダ 1500円

※数量限定、いずれも税・サービス料含む。

メニューなど詳しくはHPをご覧ください。
電話でお問い合わせください。

レストラン専用 ☎03-3804-1189

= 9時～21時



MAIL

友好都市からの手紙

南魚沼市



☎南魚沼市産業課産業交流班 ☎025-773-6665

南魚沼市の周囲には、日本百名山の一つで機織りの神様として信仰を集めている「巻機山」をはじめ、市民の山として親しまれている「坂戸山」、日本酒の銘柄としても有名な「八海山」など、豊かな自然の残る山々があります。

初級から上級まで幅広い登山コースが整備されており、希少な動植物や雄大な眺望を求めて毎年多くの登山者が訪れています。

麓やスキー場周辺の宿では、南魚沼産コシヒカリや地元の新鮮な食材を味わうことができます。ぜひお越しください。



巻機山9合目付近

各山の説明や最新の登山道情報はHPをご覧ください。



区の人口と世帯数

（8月1日時点・前月比）

人口：70万753人（－118人）

世帯：37万320世帯（＋111世帯）



広報えどがわについてアンケートを実施しています。
区HPから回答をお願いします。

◀江戸川区PRキャラクター「エドリパー」



広報えどがわは区HPからも
ご覧いただけます

☎編集係 ☎03-5662-0403